



平成31年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年11月9日

上場会社名 WDBホールディングス株式会社
 コード番号 2475 URL <https://www.wdbhd.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中野敏光

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 大塚美樹

TEL 079-287-0111

四半期報告書提出予定日 平成30年11月12日 配当支払開始予定日 平成30年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 アナリスト・機関投資家向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	20,421	10.7	2,482	18.7	2,501	17.9	1,537	17.8
30年3月期第2四半期	18,450	16.1	2,090	28.2	2,121	29.9	1,870	125.1

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 1,489百万円 (23.0%) 30年3月期第2四半期 1,933百万円 (136.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	77.51	
30年3月期第2四半期	93.26	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	21,271	15,089	70.9
30年3月期	20,651	13,798	66.8

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 15,089百万円 30年3月期 13,798百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		7.00		10.00	17.00
31年3月期		9.00			
31年3月期(予想)				13.50	22.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,600	12.1	4,602	9.8	4,608	9.0	2,903	13.9	146.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	20,060,000 株	30年3月期	20,060,000 株
期末自己株式数	31年3月期2Q	220,636 株	30年3月期	220,559 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	19,839,423 株	30年3月期2Q	20,057,774 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10
(追加情報)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな景気回復基調にあります。米国での新たな政策による影響をはじめ、欧州経済や新興国経済の動向、相次ぐ自然災害による影響など、依然として先行き不透明な状況が続いております。国内の雇用情勢におきましては、厚生労働省が発表した平成30年9月の有効求人倍率(季節調整値)が、1.64倍と、前月と比べ0.01ポイントの上昇となり、また、総務省が発表した平成30年9月の完全失業率(季節調整値)についても、2.3%と、前月から0.1ポイント低下するなど、雇用環境は改善を続けております。

当社グループは、中核である「人材サービス事業」の他、「CRO事業」・「受託研究・製造事業」・「インタラクティブ事業」の4つの領域において事業を展開し、それを支援する領域として「グループ戦略補助事業」があり、24社の子会社で構成されております。

当社グループの中核事業である「人材サービス事業」につきましては、WDB株式会社において、全国に展開しております支店が、地域に密着したきめ細かなサービスを提供しておりますとともに、スタッフ養成のための研修所が順調に稼働し、より一層の収益向上に貢献しております。更に、技術者の新卒者を対象として常用雇用派遣を行っておりますWDB工学株式会社についても、全国にスタッフを派遣しており、順調に業容を拡大しております。

「CRO事業」につきましては、当社グループとして「人材サービス事業」に次ぐ第2の収益の柱として注力しております事業領域であり、WDBアイシーオー株式会社を中心に、それぞれの強みを活かした事業展開を行っており、順調に業容を拡大しております。

また、8月には米国でCRO事業を行っているWDB Medical Data社が、米国のCROであるDZS Software Solutions社をグループ会社化致しました。この結果、CRO事業は国内4社、海外9社で構成される、計13社の体制となりました。

「研究開発・製造事業」につきましては、現在子会社3社で構成されており、それぞれの事業会社の特性を活かした活動を継続し、引き続きグループの業績に寄与していくことを目指しております。

以上のような活動の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、20,421百万円(前年同期比10.7%増)となりました。

営業利益につきましては、2,482百万円と前年同期と比べ391百万円(前年同期比18.7%増)の増益となりました。また、経常利益につきましては、2,501百万円と前年同期と比べ380百万円(前年同期比17.9%増)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年第1四半期に固定資産売却益945百万円があった影響により、1,537百万円と前年同期と比べ332百万円(前年同期比17.8%減)の減益となりました。

各セグメントの業績につきましては、以下の通りとなっております。

①人材サービス事業

理学系研究職派遣ならびに工学系技術職派遣が堅調に推移したため、当セグメントの売上高は、18,255百万円と前年同期と比べ1,462百万円(前年同期比8.7%増)の増収、セグメント利益(営業利益)は、2,520百万円と前年同期と比べ370百万円(前年同期比17.2%増)の増益となりました。

(注)セグメント利益は、セグメント間取引消去前の金額であります。

②CRO事業

WDBアイシーオー株式会社の受注が堅調に推移したこと、また2017年3月に子会社化したフィンランドのメドファイルズ社および2017年6月に子会社化した株式会社コーブリッジが売り上げに寄与したため、売上高は1,789百万円と前年同期と比べ641百万円(前年同期比55.9%増)の増収、セグメント利益(営業利益)は、106百万円と前年同期と比べ31百万円(前年同期比41.3%増)の増益となりました。

(注)セグメント利益は、セグメント間取引消去前の金額であります。

③その他

当セグメントの売上高は、376百万円と前年同期と比べ133百万円(前年同期比26.2%減)の減収、セグメント利益(営業利益)は16百万円と前年同期と比べ54百万円(前年同期比76.5%減)の減益となりました。

(注)セグメント利益は、セグメント間取引消去前の金額であります。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、主として現金及び預金、投資有価証券の増加により、総資産は21,271百万円となり、前連結会計年度末と比較して619百万円の増加となりました。負債につきましては、主として未払法人税等の減少により6,182百万円となり、前連結会計年度末と比較して670百万円の減少となりました。また、純資産は15,089百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,290百万円の増加となりました

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前第2四半期連結会計期間末と比較して1,500百万円増加し、11,215百万円となりました。また、当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益2,486百万円を計上しましたが、法人税等の支払額が1,328百万円となったことにより、971百万円の収入（前年同期は1,539百万円の収入）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、主として投資有価証券の取得による支出242百万円及び有形固定資産の取得による支出42百万円により、327百万円の支出（前年同期は1,488百万円の収入）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、主として配当金支払による支出198百万円により203百万円の支出（前年同期は176百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3期の連結業績予想につきましては、平成30年5月11日に発表致しました業績予想に変更はありません。

なお、当社では今年度より、剰余金の配当に関する方針について新たに定めております。詳細は、当社ウェブサイト「配当金・株主還元に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,908,229	11,303,877
受取手形及び売掛金	4,877,054	4,741,028
商品及び製品	10,087	10,303
仕掛品	49,095	71,615
原材料及び貯蔵品	123,277	119,988
その他	188,452	432,750
貸倒引当金	△1,194	△380
流動資産合計	16,155,002	16,679,183
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,601,926	1,570,941
土地	875,722	875,722
その他(純額)	248,221	218,694
有形固定資産合計	2,725,870	2,665,357
無形固定資産		
のれん	416,463	349,800
その他	29,109	39,452
無形固定資産合計	445,572	389,253
投資その他の資産		
投資その他の資産	918,241	1,178,863
繰延税金資産	445,666	392,925
貸倒引当金	△38,407	△34,025
投資その他の資産合計	1,325,501	1,537,763
固定資産合計	4,496,944	4,592,374
資産合計	20,651,946	21,271,557
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,894,078	1,741,689
未払法人税等	1,082,355	799,353
賞与引当金	506,866	633,168
その他	2,573,763	2,196,631
流動負債合計	6,057,064	5,370,843
固定負債		
役員退職慰労引当金	391,884	403,671
退職給付に係る負債	135,877	137,449
資産除去債務	112,914	115,967
その他	155,638	154,470
固定負債合計	796,314	811,558
負債合計	6,853,379	6,182,401

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	218,024	218,024
利益剰余金	13,209,120	14,548,475
自己株式	△742,919	△743,216
株主資本合計	13,684,225	15,023,283
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	39,486	30,587
為替換算調整勘定	66,668	26,909
退職給付に係る調整累計額	8,187	8,374
その他の包括利益累計額合計	114,341	65,871
純資産合計	13,798,567	15,089,155
負債純資産合計	20,651,946	21,271,557

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	18,450,814	20,421,173
売上原価	13,805,276	15,191,559
売上総利益	4,645,538	5,229,613
販売費及び一般管理費	2,554,725	2,747,556
営業利益	2,090,812	2,482,056
営業外収益		
受取利息	372	207
受取配当金	588	797
助成金収入	10,486	3,755
還付加算金	353	502
受取保険金	1,375	245
保険解約返戻金	16,192	6,031
固定資産税還付金	-	8,552
雑収入	5,739	6,919
営業外収益合計	35,108	27,011
営業外費用		
支払利息	0	19
消費税差額	-	4,328
雑損失	4,594	2,961
営業外費用合計	4,594	7,309
経常利益	2,121,326	2,501,758
特別利益		
固定資産売却益	945,015	378
事業譲渡益	-	11,824
特別利益合計	945,015	12,203
特別損失		
固定資産除却損	481	1,746
減損損失	-	21,390
その他	-	4,563
特別損失合計	481	27,699
税金等調整前四半期純利益	3,065,861	2,486,262
法人税、住民税及び事業税	1,221,776	894,454
法人税等調整額	△26,468	54,058
法人税等合計	1,195,308	948,513
四半期純利益	1,870,552	1,537,749
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,870,552	1,537,749

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	1,870,552	1,537,749
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	22,095	△8,898
為替換算調整勘定	39,730	△39,758
退職給付に係る調整額	878	187
その他の包括利益合計	62,704	△48,469
四半期包括利益	1,933,257	1,489,279
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,933,257	1,489,279
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,065,861	2,486,262
減価償却費	99,342	99,404
のれん償却額	34,822	47,859
減損損失	-	21,390
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,299	△25
賞与引当金の増減額(△は減少)	116,195	126,301
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	11,766	11,786
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	10,587	1,854
受取利息及び受取配当金	△960	△1,004
支払利息	0	19
事業譲渡益	-	△11,824
保険解約返戻金(△は益)	△15,542	△6,031
有形固定資産売却損益(△は益)	△945,015	△378
有形固定資産除却損	481	1,746
売上債権の増減額(△は増加)	△177,205	134,812
たな卸資産の増減額(△は増加)	36,445	△20,206
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△41,728	△45,291
仕入債務の増減額(△は減少)	△44,325	△152,389
未払金の増減額(△は減少)	175,172	△319,635
その他の流動負債の増減額(△は減少)	29,062	△111,343
その他	△39,343	35,254
小計	2,317,915	2,298,561
利息及び配当金の受取額	960	1,004
利息の支払額	△0	△19
法人税等の支払額	△779,720	△1,328,444
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,539,155	971,102
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△38,697	△47,550
定期預金の払戻による収入	33,669	47,406
有形固定資産の取得による支出	△95,522	△42,605
有形固定資産の売却による収入	1,530,000	378
無形固定資産の取得による支出	△7,634	△18,313
資産除去債務の履行による支出	-	△1,366
投資有価証券の取得による支出	-	△242,814
敷金の差入による支出	△18,032	△15,512
敷金の回収による収入	1,249	3,967
保険積立金の払戻による収入	43,148	12,017
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	41,576	-
事業譲渡による収入	-	8,945
その他	△1,570	△31,659
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,488,185	△327,106

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△4,978	△5,353
配当金の支払額	△171,656	△198,236
自己株式の取得による支出	-	△296
財務活動によるキャッシュ・フロー	△176,635	△203,885
現金及び現金同等物に係る換算差額	49,798	△39,758
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,900,503	400,351
現金及び現金同等物の期首残高	6,731,203	10,815,246
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	82,916	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,714,623	11,215,598

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	人材サービス事業	CRO事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,792,604	1,148,061	17,940,665	510,149	18,450,814
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13,032	—	13,032	—	13,032
計	16,805,637	1,148,061	17,953,698	510,149	18,463,847
セグメント利益	2,150,620	75,446	2,226,066	70,815	2,296,882

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、有機化合物製造事業、魚介類の養殖販売事業及び射出成形補助装置の製造開発事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,226,066
「その他」の区分の利益	70,815
全社費用(注)	△206,069
四半期連結損益計算書の営業利益	2,090,812

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「CRO事業」セグメントにおいて、Oy Medfiles Ltd. 及び株式会社コーブリッジを連結の範囲に含めておりません。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間において470,296千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	人材サービス事業	CRO事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,255,080	1,789,409	20,044,489	376,683	20,421,173
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13,018	20	13,038	—	13,038
計	18,268,098	1,789,429	20,057,528	376,683	20,434,211
セグメント利益	2,520,936	106,606	2,627,542	16,672	2,644,215

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、有機化合物製造事業、魚介類の養殖販売事業及び射出成形補助装置の製造開発事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,627,542
「その他」の区分の利益	16,672
全社費用(注)	△162,159
四半期連結損益計算書の営業利益	2,482,056

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計
	人材サービス事業	CRO事業	計		
減損損失	—	—	—	21,390	21,390

(注) 「その他」の金額は、有機化合物製造事業に係る金額であります。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。